

熊本市歯科医師会会誌

第 47 号



昭和59年度 新春懇親パーティー

1984. 3

表紙の写真 “残雪の備前堀”

市広報委員 寺脇 博

目 次

日常臨床に役立つペリオ臨床……………	成松 賢二…………	2
熊本市歯科医師会新春パーティー……………		5
西日本歯科矯正学会に出席して……………	斉藤 朗…………	8
税務説明会……………	永野 秀雄…………	10
委員会紹介（厚生委員会）……………		11
本日休診……………	浜坂 浩…………	14
私の初夢 その3……………	岩村 泰行…………	19
江戸時代の食生活（その2）……………	元島 博信…………	24
勉強部屋……………	浜坂 浩…………	28
全員配置図（西部）……………		30
新入会員紹介……………		31
会務報告……………		32
編集後記		

学術講演会

日常臨床に役立つペリオの臨床Ⅰ．Ⅱ．(2回シリーズ)

講師 船越栄次(福岡市開業)



昭和58年10月28日(金)午後7時と11月29日(火)午後7時の2回に渡り、熊本県歯科医師会館3Fホールにおいて、熊本市学術講演会が開催されました。今回は、福岡市博多区にて開業の船越栄次先生をお迎えし「日常臨床に役立つペリオの臨床」という演題で講演していただきました。

最近、患者のdental I. Q も上がり、う蝕ばかりでなく口臭、歯肉炎、歯周炎という様なPerio的な患者のニーズがかなり増している現在、私達一般臨床家はPerioはなかなか繁雑で厄介なものと考え、又治療を行っても再発や失敗が多い為、積極的に取組もうとしなかった様に思われます。そこで今回は大学教授ではなく私達GPの立場で講演していただく為、福岡にて開業の船越栄次先生をお呼びしまして、第一回目は歯周病本来の炎症にいて基本的な概念を講演され、第2回目は

市学術 成 松 賢 二

臨床編としてPlaque control. Scaling and rootplaningなどのイニシャルプレパレーションについて数百枚のスライドを使って勢力的に、詳しくわかりやすく説明され、延々3時間の講演にもかかわらず2百名をこす出席者が誰一人帰る事のない熱気溢れる講演会でした。

講演の内容は次の通りです。

基礎編：歯肉炎の初発から歯周炎に至るまでの病理組織学的な考察ならびにそれらの予防処置

歯周炎の初発とその処置について

1. 歯周組織の役割
2. 歯肉炎の初発のメカニズム
3. 炎症の進行過程と歯周炎

臨床編：理論に沿った歯周炎の処置について
イニシャルプレパレーションから歯周外科までの一連の歯周治療



イニシャルプレパレーション

1. Plaque control
2. Scaling and rootplaning

イニシャルプレパレーション終了後の処置

1. 歯肉切除術
2. Flap operation
3. Mu covingival surgery (M.G.S)
 - 1) Free gingival graft
 - 2) Pedicle graft
 - 3) 口腔前庭拡張術

歯肉炎は歯肉乳頭、付着歯肉、辺縁歯肉と分類される。その中の付着歯肉は2mm以上ないと補綴物などの予防が悪くなる。又、角化した重層扁平上皮により食物からの損傷を防ぎ角化していない col (contact point の下) 歯肉溝内歯肉炎の好発部位になる。

歯肉乳頭の形態はさまざまであるがエンブレジャースペースの形態によって左右される。歯肉のメラニンを除去するには基底細胞層をとるか薬物（フェノール）で腐蝕してとる。歯根膜は①クッション②支持③未分化間葉細胞である④プロペリオセプターなど、役割をはたしている。

歯槽骨を手術する時は、十分な海綿骨を持っているかによって判断する。あまり薄いと吸収して失敗する。

セメント質：歯頸側々のセメント質はセメント細胞を持たないが、歯根部々のセメント質はセメント細胞を持っている。

セメントエナメルジャンクションと歯槽頂の関係は、X線的に見れば歯槽頂から1.5mm以内が正常である。

セメントエナメルジャンクションによる問題点

- ①セメント質がエナメル質を覆う 60%
- ②セメント質とエナメル質との境がちょうどである 30%
- ③ dentin が一層出ている 10%

このデータによると10人に1人は知覚過敏になりやすいと言える。

歯肉炎は10～12才がピークであり、30才からう蝕、歯肉炎と歯周疾患が入り変わる。いずれにせよ一番の原因はデンタルプラークである。歯周疾患は歯肉溝内のプラークの中のバクテリアが作る毒素とか、抗原抗体反応、バクテリアが作り出す酵素（タンパク質、コラーゲン etc をとかす酵素）が角化していない上皮の細胞間空隙を通して中の結合組織に到達する事により炎症が起こり、ポケットが深くなり骨が吸収する。

歯肉炎と歯周炎の違い

- ①歯槽骨の吸収
- ②歯周靱帯の肥厚
- ③槽間中隔が下がる

若年性歯周炎の特長は、 $\frac{6}{6}+\frac{6}{6}$ から垂直吸収する。咬合性外傷により炎症は増悪し垂直性吸収、歯根膜の肥厚、歯の動揺をきたす。しかし軟組織には吸収は起こらない。

その他歯周疾患にはクレンチング、タッピング、グラインディングが関与し、全身的にはホルモン、栄養、薬、ストレス、遺伝、代謝（糖尿病）、血液疾患（ロイケミー）が上げられる。

歯周疾患を治療する上でE P Pを計るのは重要な事であるが、汚物を押しこんだりして

はならない。なるべく腫らさないようにしないと腫れたら骨の破壊吸収が大きくなるからである。

プラークコントロールには歯肉溝内清掃法（バス法）を使い、デンタルフロスも併用して、確実に dental plaque を落す。

フロスは上下運動で横に使ってはならない、キュッキュッと音が出るまでです。歯肉ブラシ、ツマヨウジなどを使ってもよいが、確実に落す。又、プラークコントロールでは3mm以上は清掃出来ない。それ以上をあくまで残しても隣在歯に悪影響をあたえるだけである。

歯ブラシは予防はするが、歯ブラシだけでは歯肉の改善は起こらない。まず第一にスクレーピングをして歯ブラシをする。又、患者にプラークコントロールのモチベーションを付ける為、チャートに汚れ具合を記入し、上手になってから手術をしないと失敗する。

盲嚢搔爬を繰返しセメント質内のエンドト

キシンを取りガラスみたいになるように、刃の切れるキュレットでスムーズにする。

イニシャルプレパレーションを終えて、再度ポケットの測定をして、歯肉剝離手術に入る。4ヶ月以上 pocket が3mm以上であった場合、Flap operation に入る。Flap operation は歯肉縁1mm～1.5mmから切開線を入れ、7番遠心は三角形切開法で行なう。

パックを貼付する時は、創面を生食で洗った後、完全に止血し、flap を骨面に圧接して一週間位、パックしておく。

パックを除去したら、その日から軽いブラッシングに入る。

以上のような歯周治療講演の後、ポーセレン、Crown などのマージンの問題点の解決法や、骨に刺激を与える事により、骨線上げる方法など、興味深い問題も講演され、閉会した。

広がる親睦の輪！

新春パーティー

厚生委員会

熊本市歯科医師会恒例の昭和59年新春パーティーは、去る1月28日(土)、午後6時よりホテルキャッスルに於いて開催されました。当日は、会員105名、御婦人31名、合計140名の参加があり、市厚生委員会古賀先生の司会で、川崎熊本市歯科医師会会長の挨拶に始まり、御来賓の宇治熊本県歯科医師会会長の祝辞の後、北部II支部長岩本先生の乾杯の音頭で祝宴となりました。

本年は、厚生委員会の盛り沢山の企画で、御婦人によるコーラスや、カラオケ大会、クイズ遊び、福引きゲーム等で、懇親の輪も広がって、宴たけなわとなり時間の過ぎるのも忘れる程でした。

最後は、山室熊本市歯科医師会副会長の閉会の辞のあと、御出席最年長の竹田先生の万歳三唱で、会笑団欒のうちに散会となりました。



川崎会長のご挨拶

宇治県歯科医師会会長も
なごやかにパーティーの環の中へ





クイズ、ベストナイン!!
 (年輩・先生、若手の先生、新入
 会員の先生 御夫人、若い女性)



パーティの主賓は奥様方!!



主役はだれですか?

花よりダンゴ
 (ディナー券当り)





川崎会長もお忙しいノ



新年パーティー
“花の三人トリオ”



新入会員も御同伴で出席
楽しか!!



この日ばかりは私はあんたのソバがいい

第29回、西日本歯科矯正学会に出席して

市学術 齊 藤 朗

去る2月25日・26日の両日にわたり、第29回西日本歯科矯正学会総会が長崎大学歯学部講内で開催されました。長崎での西日本矯正学会総会は12年ぶりということで、長崎大学歯学部矯正学教室の諸先生方の御尽力により特別講演3題、会員発表39題という盛大な学会でありました。当日は小雨まじりのあいにくの天気となりましたが、わが熊本からも熱心な先生方が多数出席されておりました。熊本からは26日に徳永俊英先生が「Submuons cleft palate を伴う骨格性下顎前突症例」。伊東歯科の与儀実彦先生が「当院において外科的顎矯正術を行なった52症例の臨床統計的観察」。宇治歯科の蓑下隆盛先生が「当院において外科矯正術を施した下顎前突症患者の術後変化について」という題で、それぞれ発表されました。学会のプログラムは次のとおりです。

1. 形態分析における頭部X線規格写真と顎態モデルの歯槽基底前方、後方限界点の比較

一田利道(他) (九歯大)

2. 新しい補償増感紙使用時の頭部X線規格写真

北森秀希(他) (長大歯放射線)

3. Quad helix 装置の臨床効果

久保田敦志(他) (福歯大)

4. ダイナミックポジショナーを用いた矯正

治療について

田中 巽 (鹿児島支部)

5. 上顎前方牽引装置による顎顔面頭蓋の変形様相—光弾性シュミレーションモデルを用いて—

廣瀬武尚(他) (福歯大)

6. 顎顔面頭蓋と身長の成長に関する研究

前田明子(他) (長崎大)

7. 歯牙移動による歯周組織の安定を求めて

筒井昌秀 (北九州支部)

8. 咬合誘導と第3大臼歯の歯胚摘出

松尾 光(他) (鹿児島大)

9. ブラケット撤去時の歯牙表面残留レジン

山根 進 (宇部支部)

10. 矯正治療時における Gingival Cleft について

伊藤滋害(他) (福岡支部)

11. Angle Class II Division I 不正咬合の治療例

田島寛迪 (久留米支部)

12. 非抜歯(姉)および(妹)で治療した姉妹類似症例

沖 光博(他) (宮崎支部)

特別講演Ⅰ

不正咬合の推移と咬合誘導

鹿児島大教授 伊藤学而

特別講演Ⅱ

下顎前突症例の外科的矯正

新潟大教授 花田晃治

13. 低位歯の挺出を試みた矯正症例

村田和久(他) (福岡支部)

14. 埋伏歯と開窓

佐藤公彦 (福岡支部)

15. 矯正治療時に発見された埋伏歯の経過観察について

池田一郎(他) (防府支部)

16. Submucous cleft palate を伴う骨格性下顎前突症例

徳永俊英 (熊本支部)

17. 下顎前突症の外科手術のための全身麻酔

大井久美子(他) (長大口外)

18. 当院において外科的顎矯正術を行なった52症例の臨床統計的観察

与儀実彦(他) (熊本支部)

[伊藤歯科]

19. 当院において外科矯正術を施した下顎前突症患者の術後変化について

養下隆盛(他) (熊本支部)

特別講演Ⅲ

形成外科から見た唇顎口蓋裂

長大医学部形成外科教授

難波雄哉

税務説明会

医療管理委員 永 野 秀 雄



39年ぶりの大雪も一段落した1月21日(土)午後2時より、会館3Fホールに於いて、西東税務署の統括国税調査官による、税務説明会が、市医療管理委員会により開催された。

川崎市会長挨拶の後直ちに当日のテーマである

1. 昭和58年度税務調査結果と対象基準
2. 専従者給与について
3. 交際費の税務署の見解
4. 反面調査についての見解
5. カルテの守秘義務についての見解

など以上5項目について東税務署の江藤税務官により説明があった。「現在の日本の超緊縮予算の中で過少申告は負担の公平という大原則において、国民全体に対する背信行為であろう。」という厳しい言葉を皮切りに、58年度における歯科医院の税務調査は35～40件にのぼり、3～5年にさかのぼると350～360万円の誤ちがみられ、1件当たり、税金170万円程の追加徴金をみた。そこで院長に対して、昨年と今年の決算書の比較及び申告洩れをなくす

ようお願いしたいとの事であった。また、専従者給与の適正額とは、④労務の性質、内容、⑤他の従業員との比較、⑥他院との比較、などで決定されるべきであって、一率であるはずはなく、この場においては明言はできない。交際費については、事業の挙行にもっぱら必要かという観点から1次会のみ認められ、しかも誰々で行ったかをメモしておく必要がある。また、ゴルフ、自家用車においても原則的には認められないとの事である。次に反面調査については、金銭の授受の裏付け調査権限は認められており、カルテの守秘義務は金銭の取りひきのみ問題であり、内容うんぬんはありえないという点を、御理解いただきたいとの事であった。一応の話を聞いてみると昨年よりも税務署の見解は、我々歯科医にとってますます厳しく明確になってきていると思われたし、これからもそうであろう。

会場には先生、奥様、税務担当者達が多数出席されて熱心に聞かれていた。終了後も直接、質問コーナーに出向かされている人も見うけられた。2時間余の税務説明会は予定通り終了した。



— 委 員 会 紹 介 —

厚生委員会



担当理事
菅原 洋

会員の親睦を最大のテーマに、バレーボール大会、親睦旅行、新年パーティーの行事にたずさわり、会員相互の親睦、(御年輩の先生と若手の先生及び、会員と従業員の触れ合い)又、「いい汗かいて、健康づくり」、のキャッチフレーズのバレーボール大会、親睦と

健康づくりにより楽しい医院運営に少しでもお役に立つことが広い意味での“厚生”ではなかろうかと、執行部の先生、各支部長先生、御理解をいただいた会員の先生方の御協力のもとここ2年間、委員一同全力を注いで参りました。しかしながら、我々を取りまく状況は増々悪化の状態をとりつつあります。本来の福祉厚生とはいかにあるべきか、会員が病気をしても安心して静養出来る様な代診制度、休業補償などの問題にとりくむ事が今一番の“厚生”に与えられた課題ではないだろうか、県の厚生委員会との合同の委員会をもち、どうすれば、会員の平等に恩恵を受けられるか

考えたいと思います。今後とも御指導、御鞭撻をお願い致します。



有吉 啓一

厚生委員としての任期もあと1年を残すばかりとなりました。

2年間皆様のお世話をさせて頂き痛感することは、先輩の先生方から新進気鋭の先生方まで、すべての先生に喜こんでいただける企画作りの難しさです。が、行事が無事終わった時の充実感は又、格別なものです。

色々御批判もあると思いますが、今年度もどうぞ御協力の程宜しくお願い致します。



内田 隆

私が委員になって良かったと思うことは、いろいろな人と知り合いになったことです。この集まりで話し合うことは、出歩くことの少ない私にとって、非常に楽しいことであり貴重な経験でもあります。また初めて委員になって、歯科医師会の機構など知ることが出来て勉強にもなっております。



緒方 敏克

歯科医師会に入会して、最初の委員会の仕事で、何も分からず諸先輩の先生方に御迷惑のかけどうしでしたが、残り1年の任期を私なりに頑張って、微力ながら委員会及び歯科医師会の御役に立ちたいと思っております。



北 克己

はじめての委員会に属し、皆様方の御期待にそえず早や2年になりました。

熊本に帰って間もなく父がなくなり、右も左もわからない時期に菅原先生のお勧めで委員をお受けした次第ですが、多くの友人、諸先輩方にめぐりあい幸せに存じます。

今後とも宜しくお願い致します。



古賀 明

委員会の主目的である親睦を主体として、毎年新年パーティ、バレーボール大会、秋の小旅行を行ない、はや2年間で過ぎてしまいました。菅原理事のバイタリティあふれる熱心さに引きづられてまいりましたが、後1年何とか頑張るつもりです。会員の皆様方の多数の御参加を期待しております。



住本 和隆

厚生委員に任命され早2年が過ぎました。与えられた任務上は、不行届きの点もあったと思いますが、自分なりに満足ゆく成果が得られたものと思っております。これも菅原理事をはじめとして委員会の諸先生方、それにも増して皆様方の絶大なる御厚意、御支援のたまものと深く感謝しております。

今後とも、期待に応えるべく、さらにいっそう一致団結を心掛けて、健康を増進し、和を広げ、福利厚生に邁進して参りたいと思っております。更に多くの御協力、御助言の程宜しくお願い致します。



吉永誠一郎

私は厚生委員会の委員になって初めて歯科医師会の仕事を手伝わせてもらう事になりましたが、私達の会の仕事は今のところ年3回の行事にもかかわらず、準備の手間や予算の有効な利用等の打合わせは会の一部の任務にもかかわらず予想以上に繁雑であるとの印象を受けました。歯科医師会という団体に加わっていて重要ポストとまではいかないまでも多少ながらも会に協力しているという実感を持ち、一度は会の任務に携り会員1人1人が会を盛り上げる気持を持つ事の重要性を改めて感じた次第です。厚生委員会の行事には多数の先生方が参加され大へん感謝しておりますが会のいろいろな行事に出席する事が歯科医師会の団結と繁栄に結がると思います。今後共各先生方の御協力をお願い致します。

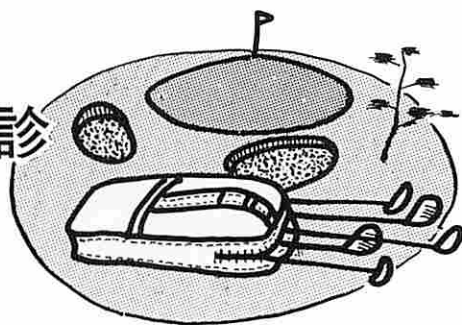


坂元 和彦

厚生委員に任命され早くも一年がすぎました。これまで、みかん狩り、新年会、バレーボール、菊池スコールなど実施してまいりました。これも一重に先生方の御協力のたまものです。これからも先生方会員と家族の交流、親睦を目的として企画、運営してまいりたいと思います。

また、企画などでよいアイデア、要望などありましたらお聞かせ下さい。

本日休診



“原動機付自転車・モペット・バイク・ 単車・オートバイ・自動二輪”

浜 坂 浩

再びエミタン号登場です。本日休診の原稿を依頼した方の都合で、私がまた出筆するはめになってしまいました。でも今後の予定が全くありません。どうか浜坂(354)-2133迄御一報下さい。自分の趣味を活字にして保存なさいませんか、そしてその趣味をもっと他の会員の先生方に広げてあげてください。

上から読んでも1961、下から読んでも1961年頃迄は50cc未満の原付自転車は14才から運転許可証を取得する事が可能でした。(2時間の講習を受けるだけで) しかも2人乗りも認められていたんですよ。但し制限速度は時速25km迄、その当時25kmと言えば下通りだけでした。現在ではアーケード街になって通れませんが。ある日、二つ年上の近所の子が自転車にエンジンがついた奇妙な乗物を持ってきて乗せてくれましたが、ペダルを踏まなくても走る自転車です。その子が偉く見えてきました。自分も……と思いましたが

「許可証がなくては乗れんとよ」

と言われ

「そんならどぎゃんすつとそればとらるつと」

「住民票ば持って北署にもって行くと、何時きなっせて言わすけん、そんな時、何百円か持って話しば2時間聞くとやらすよ。ばってん14才からばい。あーたはまだだろう」

「ばってん来月からおら14才だけん丁度良かたい」

「んなら、許可証取ったら乗せるけん、早よ取んなっせ」

うれしかったですねえ。

待ちに待って待望の許可証が手に入った。例の彼の所に行って借り出し、走る。まずべ



右端が私、左が愛車ミヤタのミヤベツト



C S .92.日高さんと組んでせしめた125cc.
(原付2種) マフラーが上がっているのが
イキ!

ダルを踏む、それまでは自転車と同じ、次に右ハンドルグリップの付根に付いているレバーを少し動かして、サドルの左に付いている長い棒を引上げひっかけにかけると、急にペダルが重くなるがそれをがまんすると、軽くなったと同時に、バリーバリバリバリー……と言う音を発し樂ちんの世界へ突入するわけだ。後日この快感を又味わいたくて、彼の所に行ったが、『店の配達に使うから休みの日でなかとだめ』と言われしょぼっ。そうこうして数ヶ月が過ぎたある日、新聞にスーパーカブ号なる原付と言うか、美しい乗物の宣伝が載っていました。モベット時代の到来だったのです。隣の会社にはすぐ2台購入されました。そして日曜日は貸してくれると言うのです。本当にスーパーカーでした。馬力が今迄の自転車オートバイとは格段の差です。50ccのエンジンで何と時速90kmもでるのです。休みになると例の兄貴分の所にスーパーカーでさそいに行くと、あのどんくさい自転車オートバイを出して来ました。ある日、三角迄ツーリングをしようという事になり、二人でさ

っそうと出かけたのですが、途中彼のエンジンが駄目になってしまいました。長距離は無理だったのかもしれませんが。仕方がないのでロープで引っ張って目的を達成させる事にしたのですが、『止めて』と言う声で後を振り向くと、何と彼を引きづっているではありませんか。あわてました。怪我は大した事なくほっとしましたが、『どうしてそぎゃんこつになったつや』と聞くと『ロープがヘッドライトに当たってライトの曲りよったけん、片手で直しょつたらひっくり返った』と言う、大変な事だった。それでも計画を続行したような記憶があります。そして半年後、叔父さんがミヤタのミヤベットという50ccのモベットを持って来て、『俺は福岡に引越せにゃんごつなつたけん兄貴、だあか買うてくるっ人はおらんどか』と親父に相談を持ちかけて来たのだった。これぞゝたなぼた、かくて親父が預ったバイクは乗らないと傷むから誰かが乗ってやらなければならないとなった。いや私だけがそう思ったというよりは思いたかった。当然思惑通りの結果がでて次の土曜日の昼からはどこか遠くへ行く事を心に決めた。ところが



目がねが日高さん。その後が私
バイクは虫垂炎の時借りた奴



原動機付自転車
仮装行列だが、地で行っている感じ

どうだ、2時限目位から雨が降りだしたではないか。でも小雨だからと自分に言い聞かせ夕方8時頃走りっぱなし、何と半日で200kmも走って帰って来たのだ。ところが夕食がはいらない。発熱していたのだった。せっかくの日曜日は1日中ふとんの中。今から考えるとほえましく思えるが、その時はくやしかったのなんのって！。その後は菊池をぬけ瀬の本・高千穂等熊本の長距離ツーリングでバイクライフをエンジョイしたものだ。高校に入ると16才で原付二種の免許がとれる2人乗り可の125cc時速40km（その当時50ccは2人乗り禁止になっていた）の1ランク上のやつだ。北署の裏で、1廻りして学科試験を受けるだけ。でもけっこう落ちる人もいたようだが試験には慣れている学生だし、実力がものをいう。当然一発合格。そうすると又もや125ccバイクがほしくなる。数学の日高先生が125ccを注文した。たまには貸して下さるそうだ。ところが納車の前日、彼は虫垂炎で入院『浜坂俺の代りに乗っていいぞ』やったあ！。1廻りした後マリスタ高校は男子校なので、小中学校で同じクラスだった初恋

の女の子の所に行き阿蘇迄さそいに行った。後部は座席がなく荷台だったので、座布団を乗せて行ったのだが、同行はしてくれなかった。はりきっていたのに……。しょぼ。でも女の子を誘ったのはそれが最初で最後だった。バイクは一人でないとテクニックが楽しめない。でも向うから言ってきた子は一度のせた事があったかな！とうとう日高先生が退院して来た。当然戻さなければならない。乗るものがない。そこで親父にねだる事になる。学校の成績が10番になったら買ってやると言う。そんな事不可能だった。数学の点数が極端に悪い。そこで思い出していただきたい。日高先生は何の先生だったか。そうです数学です。あの苦手な数学なのです。日高先生の所に行って親父の言葉を伝えたと、彼は頑張りなさい、協力するからと言ってくれた。でも協力と言ったってどうするって言うんだろ。試験の前日勉強をしていると『日高先生が見えたよ』と母の声、そして『どうだやってるか』、『はあ一応』、『どれ見せてみろ、なんだこんな事でどうする。この例題やったか』、『いいえ』、『これをやらんでどうする。解き方わか



(種子島に行く途中のフェリー上)
ごらんのとおりバイクが可愛そう。
去年の5月連休



ロケット打上げ場など外国に行ったようでした。時速100km近くで島を廻ったので家内は景色を見れなかったと、ぼやいていた。

るか?』『いえ』『どれかしてみろ、ノートとペン、ほらこんなにすればいいだろう』『はあ』『じゃ、この例題は?』『いえ』『これもやらんでどうする』といった具合で5問ほど例題を解いて帰って行かれた。当日試験問題をみてびっくり。4問の問題全部昨日の例題そのままではないか。かくて前代未聞の98点。そして次の日曜日にはオレと日高先生は125ccのバイクを並べてツーリングという事にあいたわけである。夏の土曜日には朝から水泳パンツをはいて学校に行き、授業が終るとそのまま皆で海に泳ぎに行った事もありました。ところが春休みの数日前に日高先生が私の所に来て『来年度から55cc迄で125ccは学校に乗って来たらいかんように職員会で決ったぞ。校長のバイク通学許可証はとりなおした方がいいかもしれんぞ』。マリストの校長はアメリカ人で職員会議の内容があまりわかっていなかったらしく、校長の所に行って『先生、バイクの通学許可証を失くしました。再発行して下さい』という心良くサインして3月〇日の日付けを入れてくれた。さあ新学期が始まった。ゲタの奴(生活指導の先生)

がさも得意気な顔をして『浜坂今学期から、125ccは乗って来るといかんようになったぞ』と言う。私も待ってましたとばかりに3月〇日発行の許可証を取り出して『先生、校長が数週間前に発行した許可証があるんですが、これは無効ですか。校長先生の権限はそんなにあるんですか?』その時のゲタの顔、あれほど気分が良かった事はなかったですね。『仕方がない。今年1年はおまえだけ特別だ!』『ありがとうございます』やった。やった。だが次の年はあてがない。そしたら体育の授業で腰を痛めたので、日赤で治療するはめになったのを利用して、重いカバンを持って通学するのは腰によくない、自転車はショックが直接くるのでよくない、クッションの柔らかいバイクなら良いだろう、という診断書を書いてもらい、ゲタに恐る恐る提出した。なんとそれが通ったのである。ついに3年間125ccのバイク通学を通す事になった。ある輸出用のバイクのポスターに朱色のがあった。あの色が欲しいと思い消防署に行った。『朱色に塗っていいですか』『わしゃ知らん』という答。次は交番に行った。そしたら『本官はそういう事に答える資格はない』。という答。それじ



現在の750cc.(ナナハン)

や答えきらんという事は取り締まる知識もないんだな、それではと思い、塗装屋に持って行き、あのポスターと同じ色にしてもらった。あとで後輩に聞いた話しだが、私が卒業したあと、自転車もバイクも赤系統の色は全面禁止になったそうである。マリストもやっと厄介払いができてすっきりしたのだろう。

その後4輪の免許をとってからというもの20年間2輪から離れていたのですが、またもやうずきだしました。ヨット仲間の福島君が650ccを買って乗せてくれました。20年ぶりだったけどスムーズに運転できたのでうれしかった上、浜坂さんは上手ねと言われると、もうダメ。それにヨット仲間の田中さんも750ccを手に入れた。そして二人で家に来て『エミタン（家内の愛称）買ってやんなっせよ』と。そこで中古車めぐり。少し古くはあったが、私の好みにピッタリのがあった。結局他に良いのがなくてそれを29万円で買った。うれしくてしょうがない。でも500ccという大型には今迄乗った事がなかったので恐かった。

14才の頃の50ccと比べると10倍である。皆と一緒に走るがついて行けない。すぐに遅れがちになるのだ。でもそれは一週間で、その後は「気違いの浜坂」と言われるように走りまわれるようになった。アクセルをいきなりふかせると、前輪が浮き上って走っていく。恐いけど楽しい。ところがどこに行っても『大きいですね、ナナハン（750cc）ですか?』と聞かれる。『いえ500ccです』この会話がいやになって750ccが欲しくなり、1年後についてナナハンになってしまった。これも中古車で、前のオーナーは天気予報で雨の可能性がある時は乗らないし、1年半の内1度雨にあった時は分解掃除をしたという手の入れよう。人が『新車みたいですね』というのと『そんな失礼な事言わんで下さい、新車より美しいと言って下さい』と言り返すほどでした。去年は種子島に行きましたが、今年の5月は壱岐・対馬に熊本ヨット・ハムクラブ・バイク部で行くつもりです。全車アマチュア無線装備車です。

『私の初夢』

「口腔衛生週間によせて」

岩 村 泰 行

「お母さん、口腔衛生展てのがあっているそうよ。行ってみようよ」「航空衛生展？飛行機や宇宙船の衛生の事かい？」「いやねェー、お母さん、お口や歯の健康についての事よ」「それどこでやっているの？」「市民会館でやっているって新聞に出ていたよ。友達も行くと言っていたから一緒に行ってみましょうよ。」

「そうね、お母さんもこの頃年のせい少し歯が悪くなった様だし、歯医者さんへ行ってみようかと思っていたしね。それにあそこだったら花子、二の丸公園の緑もきれいだろうし、帰りにデパートに寄って買物でもして帰れるし、そうしようかね」「ワァー嬉しい、じゃすぐ行こうよ」花子は嬉しくてすぐ友達2、3人連れて来た。弟も一緒、大勢で急に賑やかになり、みんな飛んだり跳ねたりして家を出た。熊本城の新緑が目にしみる様だ。会場である市民会館の前は、既に親に手を引かれた子供達や、お年寄りなどで一杯である。入口できれいな可愛い衛生士のお姉さんから展覧会のパンフレットや風船を貰って入る。入ってみて驚いた。ライオンが大きな口を開けている。その横に熊さん、象さん、まるで動物園に来た様だ。小鳥の声も聞えて来る。一体これはどうした事だろう、歯とどんな関係があるのだろうか。お母さんも首をかしげている。然かしやがてスピーカーから軽い音

楽と共に、肉食動物の歯について肉食動物は獲物をとる為に鋭い歯の形をし、又大きな牙があり、形も山型をしていて虫歯になりにくくなっている事等、図解パネルと共に詳しく説明され、「なるほど」と改めてこれ等の動物の口の中をのぞいてみた。又象、サイ、カバ、馬、牛、等の草食動物、うさぎ、ねずみ、魚や昆虫もいる。そこを通り過ぎると可愛い赤ちゃんが「ニコニコ顔」で座って居る。小さな可愛い前歯二本がのぞいている。「花子お前も小さい時はあんなだったよ」「私、今でも可愛いでしょう」「ソーソー」「私達の歯はどんなにして出来るのだろうかね」又々お母さんは首を傾げている。「あら！お母さん知らないの？」「そーねェ」

人体模型や歯牙発生の模型やパネルが並べられ、ここでも衛生士のお姉さん達が色々説明されている。特に妊産婦の衛生指導をされている。お母さんは思わず大きなお腹に手を当てて、花子達はそっちのけでのぞいてみたり、聞いてみたり、熱心なこと。パネルには歯と関係のなさそうなイラストがある。農業用語で昔から良く言われている「苗半作り」りっぱな作物や花を咲せるには、それぞれにあった土作りから、水や日光、そして肥料と農家の人々はりっぱな苗を育てるのに努力している事が説明されている。人も又同じ様に

丈夫な立派な子供を産むには、妊娠初期から栄養や運動に気を配らなければならない事が良く分った。又、子供達のおやつのが次のコーナーにあった。ふと目をやると小さな子供がお菓子の袋を手に、ムシャムシャ食べている。あの子供のお母さんってどんな人だろうと思わずそっちを見た。子供が泣けばすぐお菓子を与える忙しい気持ちはわかるが、忙しいからといってそんな事をしていたら、子供はすぐそれを覚えて泣けば、何時でも何でも与えられると思うようになる。これは単に虫歯予防だけでなく、人間形成に大切な事であろう。我まな身勝手な自己中心な人間をこの時から知らず知らず育てているのに気付いてほしいものである。家庭内暴力、校内暴力もすでにこの頃からその芽がある様に思われる。お母さんはつくづくそんな事を考えていた。

「お母さん次に行ってみようよ」「花子待ちなさい」着物の虫喰い、白蟻の家、白菜の虫喰い等、害虫にやられた色々なものが並べられている。私の虫歯も虫にやられたのかな、歯に虫がいるのだろうかと思わず頬に手を当ててみた。然かし次に動物にも虫歯があるのかと思った。野生の猿には虫歯はないが、動物園に飼われている猿には、やはり虫歯があるそう。どうしてだろう？。パネルには台所の食器棚や理科の実験室が書いてある。なんだろう？。家庭で物が腐敗するのは適度の温度と湿度と腐敗菌によって物が腐って食られなくなる。それで清潔できれいな台所と冷蔵庫が必要である。又鉄や銅の錆た物も置いてある。方解石、石灰石に塩酸をかけると発泡し煙を出して溶

けていく。何だか家庭科に入った様だ。然し私共の口の中でも同じ様な事が起っている。口の中は適度な温度、湿度、細菌、そして食べた物の滓がくっついている。これで虫歯になるのか。何んだ、虫はいないのか、どうして虫歯になるのか良くわかった。磨け磨けというさく小学校の時から言われて来たが、毎日忙しいのでついわかっていても磨いていなかったが、やっとどうして虫歯になるのか、又磨くと云うより清掃することだと云う事も分った。早速帰ったら口の清掃をことにしよう。「花子、お前今日歯を磨いて来たかね」「だって朝からここに来るから磨いて来なかったわ」「駄目だねエー、食べたなら直ぐ磨いておかないと、見てごらんあんなになってしまうよ。なっている？」「イヤーン、私も直ぐ磨くことにしよう」「虫歯も歯槽膿漏もお口を清潔にする事が先ず第一ね」お隣の奥さん、「私、歯槽膿漏よ」と言っておられたが、あれは歯槽膿瘍のことで歯槽膿漏じゃないんだ。早く治しておかないと骨膜炎や骨髄炎になって大変なことになるとおしえてあげよう。又虫歯も早く治療しておかないと、外の色々な病気を引き起す怖い病気なんだ。

「花子、来てごらん、おとぎ話しがあっているよ」「お母さんどこ」「アッ!! 本当だ」桃太郎のお話、昔々あるところに大変元気なお婆さんとお爺さんが居ました。どうしてそんなに元気かと言えば野山に、川へと、取れたものは何でも喰べて働いていました。或る日、川で洗濯していると「ドンボラコッコ、ドンボラコ」と大きな桃が流れて来ました。お婆さんは早速それを取って家に帰り、お嫁さんに

も喰^くさせました。お嫁さんはやがて元気な大きな赤ちゃんを生みました。お爺さん、お婆さん、お母さんの言うことをよく聞いて何でもよく喰べ、喰べたらお口をきれいにしていました。やがて大きくなり、皆良く働いていました。この頃村に悪者がやって来て悪い事ばかりして困っています。みんなの為にやっつけて下さいと頼みに来ました。よく話を聞いて村の人々に争いが無い様言いましたが、それでも又村の人がやって来て頼むので、それでは私が行ってお話ししてみようと出かけて行きましたが、どうしてもその悪者は承知しません。お猿さんの様に知恵の多い人や犬の様に元気いい人や、きじの様に勇ましい人等（智・仁・勇）、皆などと相談してこの悪者をやっつけることにしました。やがて悪者は降参して平和な村になりました。「花子、桃太郎さんは何でも喰べて勉強したから強い人になって村の人々の為に働いたのね」「そーねエ、面白かったわ」「浦島太郎のお話しもあるわ」次のコーナーでは虫歯はどんなにして治すかのコーナーである。「お母さんが若い頃はそれはそれは痛くて、二度と歯医者に行くものかと思った事があるのよ」「そんなに痛かったの」「そーよ、大きな注射針をブスッとされて死ぬ思いをしたものよ」神経とるんだって、何だかモーターがウンウン唸ってドリルみたいなもので孔をあけて神経ころしの薬をつめられ、今夜は少し痛いかも知れないなど云われて、痛み止の薬を貰って帰り、一晩ウンウン言っていたものよ。勿論神経取って貰ったら良くなったけどね。」この前行った時は細い針で静かに少し注射されたのも分らな

いくらい。天井見て寝ていたら、先生「もう済みましたよ」と言われ、「先生もう済んだんですか?」「奥さんこんなになるまで放っておいてはいけませんね。今日は神経取って、その後根の方もつめておきましたから、この前お話ししていた様に後は冠をかぶせる様にしましょう。痛かったですか」「いいえ、少しは感じましたが音楽は流れてくるし、程良い温度で気持ち良く治療して頂きましたわ。有難うございました。」

麻酔の所では笑気麻酔、浸潤麻酔、伝達麻酔など麻酔のやり方や器具、又危険性のないことなどを実物やスライド、パネルなどで説明されている。又治療前後に詳しくレントゲンを撮ってみるが、これも歯科でやるレントゲンは危険なものではなく、日常でさえ宇宙からの放射線があることや、治療の為にはその必要性からみると大事であることがわかり易く説明されている。私達は原爆被害国であるせいか、この放射能と少々感違いし、又ノイローゼになっていた事に気付いたものです。

次のコーナーでは詰め物、冠、架橋義歯など、実物とパネルで説明されている。物が良く咬めるように、発音が良くなる様に、又人からみて見苦しくない様に自然の状態に見えるように色々苦労されている様が説明されている。又これらを作るのに理工学的、治金学的にその工程を実物とパネル、スライドなどがあり、私達が簡単に、先生明日作って下さいと言った事が少し恥かしくなった。又保険でやって頂いていたが、ここに説明されている様に何でも出来ると思っていたが、みんな出し合って助け合って行くことからすれば、

最低保障も無理からぬことと思う。一応出来るとしても本当に自分の体の一部となり、一生健康を保つ為には、それなりのことをすべきであることが当然であろうと改めて考え直した。この次病院に行った時は単に保険でお願いしますなどとは言わず、良く相談して決めることにしよう。世界の国々の社会保障制度や福祉制度がどうなっているのか、又私達が住んでいるこの日本における福祉や保険制度がどうなっているのか。医療制度、特に歯科医療保険は？一般医療保険と歯科医療の特殊性等、詳しくわかり易く、私達にパネルやスライドを使って説明され、又相談コーナーもあって親しみやすく、今までただ単に保険料を払っているから、ただで、又は三割負担すれば何でもやってくれるものと思いこんでいたが、もっと勉強して先生方によく相談しなくては、次には入れ歯のコーナー。花子と一緒に見ていたら、お年寄の夫婦が「婆さんや、この前入歯を入れてもらった様だがここに出ているよ」「どれどれどこにですか」「お前調子はどうかな」、型をとる前に色々な検査、歯肉や骨の状態、関節の状態をレントゲンや色々な器械で調べられ、一般のお医者さんと同じ様な事をされ、更に既往症やその他、ことこまかに問診や、触ってみたりされている。型をとるのもその人に合った色々な方法で、正確に緻密に採られている。咬み合せの状態（咬合採得）も昔と違って、高周波や超音波、熱線、その他コンピューター、色々な器械を使って簡単にしかも楽しく、その人に合った咬み合せを採られる技工室という作業、そしてふたたび診療室で仮に出来た入れ歯を合わ

せてみる。老人には老人らしくその人の個性を表すように、そして咬み合せもOK。患者さんもお医者さん思わずニコリ。「この次にははいりますよ、今漸らく御辛抱下さいね」と先生親切である。そして再び技工室へ。大変な作業の様である。「婆さんや、仲々手の入る大変なものだな」「そうね、先生には文句ばかり言ったけど、こんなに面倒なこととは知らなかったわ。又あんな料金の先生大丈夫なのかしら？少しお気毒な様な気がするわ。有難いことね」「そうだね、ワシも少し悪いけど早く診て頂く様にしよう。入れ歯は単に見掛けだけでなく、よく食べれて、良くお話しが出来、消化器の第一歩であり、一種の人工臓器だということが良くわかったね」「お爺さんこっちに来てごらん。徳川時代の入れ歯があるよ」「アッ本当だ、昔の人は良くこんな物で食べたもんだね。それにしても日本人って大したものだなァー」昔使われていた色々な入れ歯や、器械等が展示してある。

「お母さん綺麗な人の写真が一杯あるよ」「アラノほんと、みんな綺麗で明るく、健康そうな顔しているね」「歯並びがいいと綺麗に見えるのね」「そうよ、昔から明眸皓歯と言われているからね」「歯並びが悪いと、ただそれだけではないと言ってあるわ」矯正のコーナーでは歯列不正の原因、種類、為害作用、治療のやり方等が詳しく説明されている。「花子、お前虫歯はなかったかね？」早く治療しておかないと虫歯があると良く咬めなくて柔らかいものばかり喰べるので顎が大きくなる。その為に大人の歯が並びこなさないし、又早く抜けたり遅くまで残ってもいけない。又歯並

びが悪いと見かけだけでなく、虫歯や歯槽膿漏になり易く、発音もうまく出来ないし社会的にも気が引けて十分な活動が出来にくいなど色々なことから歯並びを良くしておかねばならない事がわかった。又それではそれを治すにはどの様にして治すか色々な方法があることも分った。「私のクラスの人で歯に針金の様なものをしていただけ歯並びを治していたのね。きっと運動も成績も良くなるだろうね、お母さん!!」「そうね、性格も良くなり、クラスのお世話だってきっとされる様になるよ」

小・中・高校生の絵画や作文等の作品展示もある一方で、バザーコーナーがあり、先生方の御家族の方や、衛生士さん方の作品展示即売会や、先生方の絵画、写真、陶器、その他の展示があっている。又一方のコーナーで

は歯科に関するよろず相談コーナーがあって先生方や衛生士さん達が親切に指導されている。交通事故、労働災害、その他外傷、癌、その他悪性腫瘍や良性腫瘍、細菌による色々な感染症、職業病。歯が痛む時だけ行っていたが、歯科にこんなに多くの病気があるとは知らなかった。母子衛生から総義歯、保険のこと等色々な事を知った。もっと歯を大切にしてい長生きしなくてはとつくづく思った。今日は花子に誘われて一日楽しかった。

主催：熊本県市歯科医師会

後援：熊本県・熊本市

厚生省・文部省・大蔵省

保健所・婦人会・青年会議所

江戸時代の食生活（その2）

元島 博信

“江戸ブーム”だそうである。テレビや新聞、雑誌が江戸時代のいろいろな事をひんぱんに取り上げている。なぜ江戸ブームかという、景気とたいへん関係があるからだそうである。今日の慢性的な不況では、将来の生活に夢が見出せなくなり、反動として、30年もの長い間、平和を楽しみ、独特の町人文化を育てた江戸時代に、現代人が心を引かれるかららしい。

今回はそのブームにあやかって、江戸時代の食生活をみながら、私たちの健康を支える食生活を考えたいと思う。

食生活と仏教

古来、日本の食生活は、一般庶民とは離れて、京都を中心とした公家文化の中に発達してきた。仏教が伝来し、その思想が浸透するとともに、“殺生戒”が強調された。

奈良時代には牛、馬、犬、猿など四つ足動物の食用禁止令が出され、この時代を境に、玄米、山菜、水産物を主体とする日本人の食形態がしだいに形づくられた。しかし肉食がまったく途絶えたわけではなく、家畜以外のうさぎ、猪、熊、狸、キジなどが食用の対象となった。

うさぎを一羽、二羽と呼ぶのは、肉を食べたいお坊さんがうさぎの長い耳を鳥の羽根にみたてて、鳥の仲間だと勝手に決めて、こっ

そり食べたからで、その呼び方が一般化したといわれる。

他に保存用食糧、調味料、酒の醸造、干物や漬物、中国との交流によって学んだ唐菓子や食品も多くなったが、庶民はまだ貧しい食生活であった。

鎌倉時代、武士は一日二食とし簡素な生活と自己の鍛練にきびしかったが、これも仏教の一派である禅宗の影響からである。

戦国時代は食べるだけが精いっぱい、食文化はいぜん発達しなかったが、織田、豊臣の時代になると南蛮船がしばしばやってくるようになる。珍しい洋風食品もはいつて、食生活は再び華やかさを取りもどした。

足利時代は料理の主導権はまだ僧侶が握っており、淡泊な味が良しとされた。信長は自らの権力拡大とともに、そうした習慣を改め、主導権をだんだん僧侶から離し、武将や当時の茶人の好みに移していった。

この頃の甘いものにカステラ、金米糖がある。酒では、ぶどう酒、みりん酒などの蒸留酒、またかぼちゃ、じゃがいも、とうもろこし、糖がらし、こしょうなど南方系の食品もはいつてきた。

クリスチャン大名の高山右近は、魚でも牛肉でも公然と食べていたという。僧侶の中でも鯉節でダシをとったり、肉食をしたりする

者も現われ、仏教伝来いらいのきびしい圧力が少しずつ解け始め、日本人の平均寿命もだんだん長くなっていった。

武士の食生活（江戸）

家康はたいへんな倹約家として知られるが、食物観にもよくあらわれている。「食べものはいつも美味ばかりでは、うまいものではない。平日のものは軽味がよく、美食は月に二、三度でよい」と述べ、戒めとして書き残している。だから代々の将軍の日常の食事は、意外と質素である。一汁二菜、ちょっとした煮物や焼き肴がついているだけである。めしは蒸飯。ざるにとった米を沸騰している湯の中に入れて煮上げ、これを釜で蒸したものである。味はいたって淡泊。そのうえ何度も毒味され、遠い所から運ばれてくる食事はすでに冷えてしまっていた。将軍はみんな猫舌にされてしまったのである。

芝の増上寺から発掘された将軍およびその家族の歯には既して咬耗の跡がない。軟らかい食事を摂っていたためである。冷えた食べ物だから、固ければ当然食べにくい。食べやすくするために軟かい調理にしたものと思われる。

将軍でさえこの程度であるから、一般武士や庶民の食生活は推して知るべしである。暮らしとて決して楽ではない。屋敷の裏庭を畑にして野菜をつくったり、味噌、醤油、煙草なども自家製にするなど、毎日の食生活を維持していくのが精いっぱいだったようだ。

武士階級の悩みのタネは人件費である。平時であっても有事のさいを想定して、所定の兵力を常時抱えておかねばならない。

三百石取りの武士でさえも七人の兵員を常備しておくことを幕府は義務づけていた。

この頃の下級武士（兵員）の勤めは「三番勤め」といって三日に一回、勤番がまわってきた。いまふうには「週休四日制」である。いかにムダが多かったかが分かる。それに幕府の手伝い普請、参勤交代の諸経費、江戸と国との二重生活など出費が相当かさみ、そのシワ寄せが食生活におおいかぶさっていたのではないだろうか。

食事は一般に朝夕の二回である。当時成人一人の1日当たりの食費扶持は五合とされ、質より量にかたよっていて、空腹に悩まされることはなかった。大工などの筋肉労働者は平安の頃から、おやつや夜食を食べて三食に近い形をとっていたが、一日三食が一般化するのには元禄になってからである。

食事を作る人・食べる人

将軍や大名の食事は御膳所や台所で調理され、そこは膳奉行や台所奉行が管理した。献立は前日に決められたようで、その献立表をまず主君に見てもらい、OKが出た時点から、食事づくりの準備がスタートする。材料は細心の注意が払われ、米は一粒でも傷があってはならなかった。

食事を作る側がこれだけ神経をつかうわけだから、食事をとる側の将軍や大名の気苦労もたいへんなものである。例えばいつもより食欲がないと、「料理の方法が悪かったのではないか」と、台所役人が責められる。食べ物の中にゴミでもはいつているものなら、係の者は責任は問われ、切腹にも発展しかねない。だから、いつも平均した量が食べられるよう

に心がけ、ゴミなどを見つけたら、誰にも気づかれないように、隠すのに骨をおった。

豊かになった食生活

江戸初期、米は精白されず玄米を食べた。当時の下級武士は味噌、醤油、煙草まで自家製であった。このような質素な食生活も元禄あたりから急速にぜいたくな色あいをみせ、食を楽しむ気風がでてくる。

元禄時代になると、精米技術が進歩して白米が一般に普及した。と同時に脚気なる病気が江戸市民の間に急増した。食生活の変化は、市民に新しい病気をもたらしたわけである。また、菓子類も豊富に出回り、まんじゅう、おこし、せんべいなどの専門店も出現した。幕府は諸大名の御用達店も現われ、次第に発達していった。

練馬大根と綱吉

将軍や大名は元禄以前にすでに白米を口にしていたといわれる。

五代将軍綱吉は家光の四男であり、別家して上州館林十五万石の領主であった。この頃、彼は奇病にとりつかれた。「江戸わずらい」ともいわれた脚気のことである。静養のために練馬村にやってきた綱吉は、退屈しのぎに尾張から種子をとり寄せ、百姓に蒔かせた。土と良く合ったのかみごとに大根に育った。この大根が練馬大根の起こりといわれる。記念碑も建っているが定かではない。自然の土を踏み新鮮な野菜を食べて静養しているうち、綱吉の脚気は完全に治ってしまったという。

外食の始り

元禄時代のもう一つの特長として、高級武士や富豪の間に外食の習慣が広まったことで

ある。

この風潮は大阪、京都で始まり、江戸へと広まった。江戸では茶飯、豆腐汁、煮めしなどを商う一膳飯屋が最初であったが、だんだん大型の料理屋、仕出屋が出現し、さらに高級化していった。以後〇〇屋となる多くの料理店が次々と店開きしていくが、戦争のない時代の武士の生活が、このようなサロンの社交場を必要とするほど世の中の情報も変わっていったのである。

まとめ

江戸時代には私たちが思っている以上に、将軍や大名の食生活は質素である。まして庶民にいたってはさんたんたるものであった。それに比べると現代の食生活がいかにぜいたくかが分る。

すでに述べたように一日三食が一般化したのは元禄時代である。外食の慣習が始まったのも、玄米から白米へ移行したのも同じ元禄であることを考えると、元禄時代は日本人の食生活の一大転機といってもいいようだ。

元禄の頃の江戸市民が白米を食べて脚気という病気を新しく経験したように、今また私たちは新たに糖尿病や肥満など“ぜいたく病”に悩まされている。

もう一つ気づくことは、仏教が食生活に大きな影響力を持ちつづけたことである。

はしで食べる日本食はコレステロールの少ない食品とされるが、糖尿病や肥満の防止に仏教が影響していたように思う。

今世界には5億の民が食糧不足によって、飢餓に苦しんでいる。ところが生産される食糧は人類の胃袋をまかなうのに十分だという。

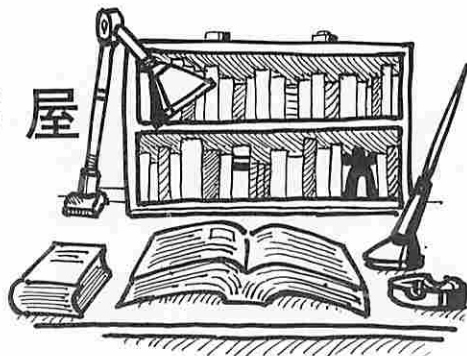
ではなぜ食糧不足が起こるのか。それは日本人や欧米人がぜいたくすぎて、必要以上に食べ残していることと、うまい肉を食べたいがために、人間の食糧を家畜に与えているから、などによる。そのため低開発国の人々まで食糧が届かないというのである。

私たちの日常生活に今まで大きな影響力を与えてきた仏教も、食生活においてコレステロールに対する歯止めの役割りを果たすこと

はなくなってきている。江戸時代からの食生活の歴史をふまえ、日本食の良さを取り入れながら、もう一度現代の食生活を考え直す時期にきているのではないかと思う。

次号では軟かい食べ物が多くなった現代の食生活において、顎の機能量の減少をきたしている子供達に対して、臨床上どう対処しているかを述べたいと思う。

勉強部屋



前歯部舌面形態

ここで咬みなさい！は可愛そう。
もっとゆとりを

浜 坂 浩

理想的な咬合点はあるかもしれないが、今迄の習慣もあるし、人間とじ込められてしまうと、萎縮したり反発したくなるもの、固い事言わず、気楽に咬める様にしてあげましょう。

中心位でも咬めてその廻り1～2mmでもかめる様に、前歯部舌面に棚を作ってあると良いのです。すなわち図1のAの様な前歯舌面形態をとるとそれが実現するのです。臼歯部は前回お話ししたF・G・Pテクニックを用いると上顎前歯舌面形態に調和のとれた、上顎臼歯の咬合面が出来上がる段取りになります。

では図2の様な装置をハノーの咬合器に取りつけます（オプション）。F点で中心位咬合を作りE点と同じ高さで咬める様にワックスアップすると図3の様な棚のある舌面が出来上がりそれを口腔内に装着し顎運動をしてももらいます図4それで患者の顎運動にマッチした舌面形態が得られます。図5の様に模型に移し石膏コアをとり仕上げる。さあこのびのび咬んでもらいましょう。

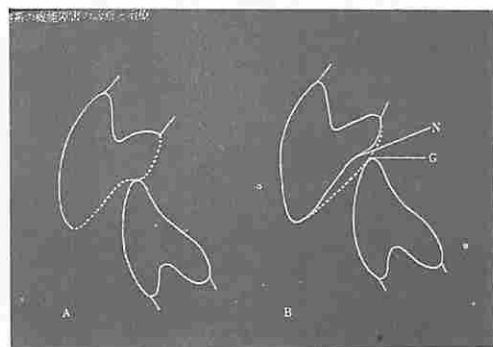


図1

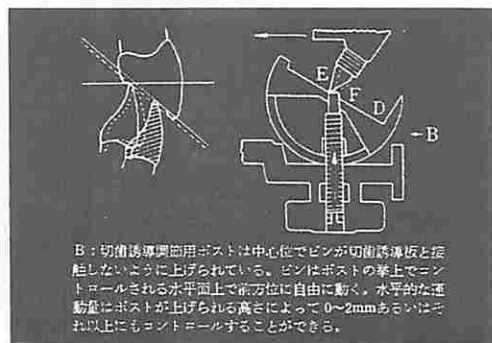


図2

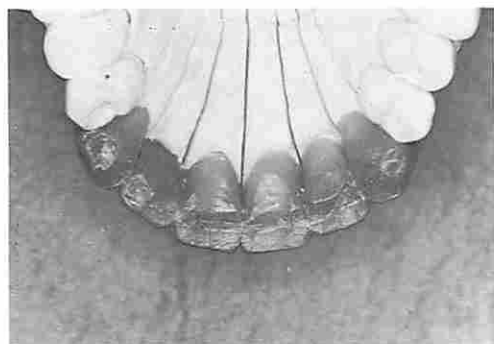


图 3



图 4

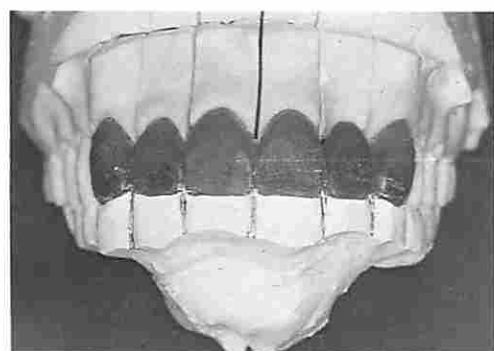
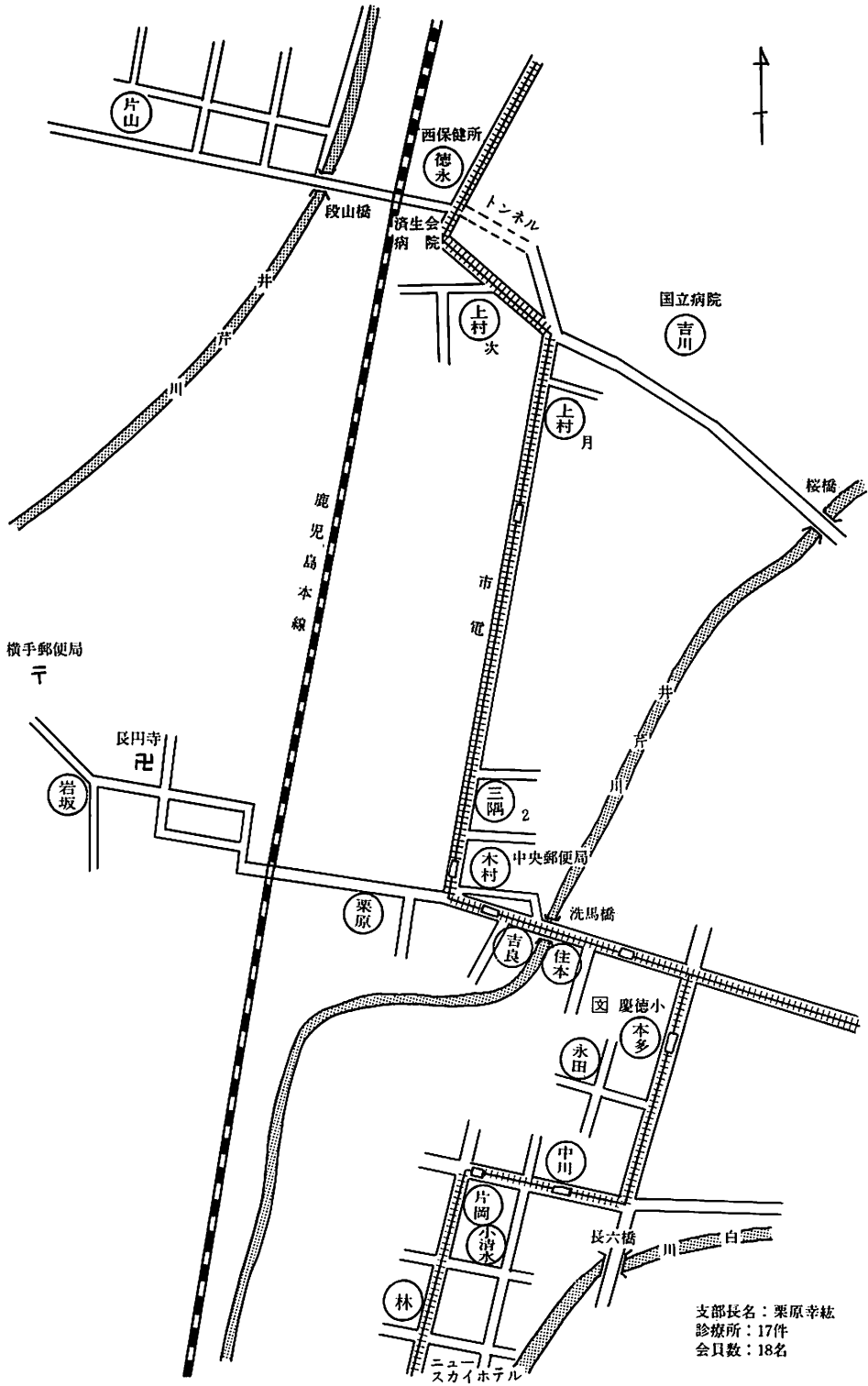


图 5

会 員 配 置 図 西 部



新入会員紹介



氏名 安田 直幸 昭和27年6月16日生

自宅 玉名郡天水町部田見513 TEL096882-3843

診療所 飽託郡河内町船津1960-11 TEL096-276-1933

趣味 写真撮影

好きなことば

経歴

昭和46年3月 玉名高校卒

昭和47年4月 城西歯科大入学

昭和53 " 卒

昭和53年4月 東京赤坂ウスキ歯科勤務

昭和53年5月 歯科医師国家試験合格

昭和56年4月 ウスキ歯科退職

昭和56年6月～9月 八代市本町1-10-36 増田歯科勤務

昭和56年9月～58年12月 八代市田中本町15-10 向井歯科勤務

家族構成

安田 博直 大正8年3月14日 父

" 幸子 大正13年7月17日 母

会 務 報 告

11/25～12/27

月	日	行	事
11	25	厚生委員会	
	28	学術委員会	
	29	学術講演会	
	30	社保委員会	
12	1	医療管理委員会	
	6	社保委員会	
	9	学術委員会	
		広報委員会	
	13	北部 1・2 合同支部会	
		岡本英樹先生ご逝去 通夜 12/14PM 7 : 00～ 告別式 12/15PM 1 : 00～	福岡県直方市
	15	東部 1 支部会	
	16	学校歯科・口腔衛生合同委員会	
	19	医療管理委員会	
		厚生委員会	
	21	社保研修会 中央部	
	22	理事会	
		社保研修会 北部 1	
	23	社保研修会 北部 2	
	26	” 東部 1 + 川尻	
	27	” 東部 2	
S59 1	2	津田勝久先生 御尊父様御逝去	
	9	社保研修会 東部 3	
	10	” 東部 4	
	11	” 西部 + 小島	
	12	” 南部	
	18	資格審議会	
	19	医療管理委員会	
		口腔衛生委員会	
		厚生委員会	

月	日	行	事
	20	学校歯科委員会	
	21	税務説明会	
	24	厚生委員会	
	25	理 事 会	(初房)
	26	社保委員会	
	28	新年懇親パーティー	(ホテルキャッスル)
	31	学術委員会	
2	7	医療管理委員会	
	13	広報委員会	
	14	社保委員会	
	15	予 算	
	16	口腔衛生委員会	
		学術委員会	
	17	学校歯科委員会	(役員室)
	21	理 事 会	

編集後記

今年の冬は例年になく大雪に見舞われ、まるで雪国のような光景が見られました。

昭和59年も各委員会では講演会、レクリエーションと盛りたくさんの行事を計画しています。

会員の先生方どうか今年もこれらの行事により多く出席、参加されますようお願い致します。

広報委員会

熊本市歯科医師会会誌

第 47 号

発行日 昭和59年3月20日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

発行責任者 川崎正士

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL (353) 1291